中央公民館だより

令和３年２月１日発行
三原市中央公民館
三原市円一町２丁目３番１号
TEL 0848-64-2137　FAX 64-0137

ミニ作品展示･学習発表会
ロビーにて好評開催中!!

２年続きの作品展示･学習発表会の中止により、出展常連団体さんから、「せっかく作品を作っても、発表の場がない。」、「見てくれる人がいないと、創作意欲も減退する。」などという声をよく耳にします。

そこで、本館では、ロビー展示広場の常設パネルと展示ケースを、公的展示のない限り、ご活用いただけることにしています。(詳細は、事務所にお尋ねください。) これまでにご利用いただきました団体さんをご紹介します。(展示中のものを含む。)

☆展示広場　※上…三原押し花会(12/7～12/21)、下…辰の会(1/11～1/25)

☆展示ケース　※左…陶美会(12/2~1/6)、右上…キルトテン(1/14~2/25)、右下…三原押し花会(1/18~2/15)

自主グループ突撃インタビュー　No.21　「講座自慢をお願いします」

思い出の風景や静物など、お気に入りの写真や図案を持ち寄り、思い思いに鮮やかな彩(いろどり)の押し花画を創作しておられる三原押し花会さん。まるで写真のように精緻で、見ているだけでもその地を旅行した気分になれます。

三原押し花会

押し花を作って楽しみませんか。

子どもの頃、綺麗な花や葉っぱを本や新聞紙に挟んで押し花を作ったことはありませんか。すぐに変色して残念な気持ちになったことがあったのではないですか。現在は、短時間で乾燥させて、保管袋で新鮮な色のまま保管できます。

例えば、草、木、花、葉、木の皮、木の実、こけ、果物、野菜を乾燥させて、果物の形のまま額に入れたり、花などはばらして乾燥させて、動物や建物、山、川などが作れたりします。近くの景色や旅行した時の写真で風景画を作ってみませんか。

私は、20 年以上押し花をしています。子どもから高齢者、年齢を問わずできると思っています。絵画の知識は必要ないですし、自分の好きなように作品を楽しんだら良いと思います。

教室は、第１・３月曜日、10 時からです。

中公界隈　いち　にい　さんぽ　⑧

冷えーっ!!
“七草寒波”のさなかに
桜満開?!

新年早々、目を疑うような光景に出くわしました。

それは、去る１月７日、来年度の講座の関連で沼田川河口に向かう築堤の遊歩道を歩いていたときのこと。な、なんと…２、３本ではありますが、樹高３メートル程度の桜の木に花が開いているではありませんか。１、２輪ならまだしも、雪が吹きすさぶ寒風のさなかに、ほぼ満開状態です。

根元の小さな立て札には、「十月桜　落葉小高木　八重咲き　11 月中旬と４月に白花を咲かす　花弁は 17 枚でやや小形（ばら科）」とあります。

“桜は４月”と信じて疑わなかった当方には、衝撃の実態でした。近くに、「2003 年３月　寄贈　桜並木づくりの会」という小看板も見つかりました。

編集後記　　箱根駅伝を応援した”三原だるま”

正月の恒例行事となった箱根駅伝。今年は、97 回目を数えました。

その１日目（往路）のテレビ実況を見るとはなしに見ていました。と、一瞬、青山学院大学の応援席が映り、机上のダルマが目に飛び込んできました。もしや、あれは？いや、そうです。きっと、そうに違いありません!!

実は、昨年12月7日、本館美術工芸室にて、鳥生悦郎さん（三原だるま保存育成会代表）による１体の三原だるまが完成しました。三原市ふるさと大使でもある青山学院大学の原晋監督にエールを送るために制作されたものです。

途端、関心の薄かった駅伝自体に親しみが湧いてくるのを覚えました。結果、青山学院大学は総合優勝は逃したものの、復路での優勝を果たしました。

何事もそうです。自分に関わりのあるものについては、身近に感じられ応援したくなります。年頭にあたり、本館のご利用についても、市民の皆様とより交流を重ね、”愛着深い”公民館にしていかねばと、心持ちを新たにした次第です。

お問い合わせ･ご相談は、三原市中央公民館(TEL0848-64-2137　FAX64-0137)　生涯学習相談員　中山･村上まで